

MS341-B1018/9

GRフロントスポイラー

[LED付き]

取付・取扱要領書

この度はGRフロントスポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

● **本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは必ず車両登録後に行ってください。**

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MS341-B1018-A0	パールホワイトⅢ	ルーミー '20.9~	
MS341-B1018-C0	ブラックマイカメタリック		
MS341-B1018-J0	レーザーブルークリスタルシャイン		
MS341-B1019-NP	未塗装品（プライマー処理品）		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

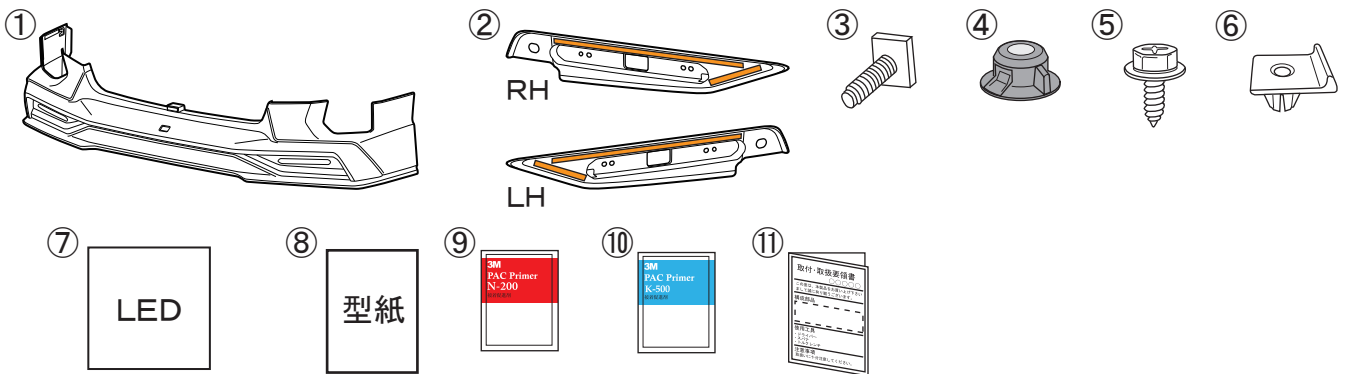
No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	LEDリテナー (RH/LH)	各1	
③	スクエアヘッドボルト	4	
④	クリップナット	4	
⑤	タッピングスクリュー	4	6×16
⑥	グロメット	4	
⑦	LEDデイトムランプキット	1	小袋
⑧	型紙	1	
⑨	PACプライマー (赤袋)	1	N-200
⑩	PACプライマー (青袋)	1	K-500
⑪	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS341-B1019-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	品名	個数	備考
⑫	モール	各1	黒 / グレー:L=700、ライトグレー:L=1100
⑬	マスキングテープ (RH/LH)	各1	
⑭	エンブレム	1	
⑮	クッション	1	L=100
⑯	PACプライマー (青袋)	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS341-B1019-NP (未塗装品セット) のみに同梱

モール⑫推奨使用色



塗装色 (色記号)	モール色
パールホワイトⅢ (W24)	ライトグレー
ブラックマイカメタリック (X07)	ブラック
レーザーブルークリスタルシャイン (B82)	ブラック
ファイアーコートレッドメタリック (R67)	ブラック
プラムブラウンメタリック (R59)	ブラック
プリリアントカッパークリスタルマイカ (T33)	ブラック
ターコイズブルーマイカメタリック (B86)	グレー
クールバイオレットクリスタルシャイン (P19)	ブラック

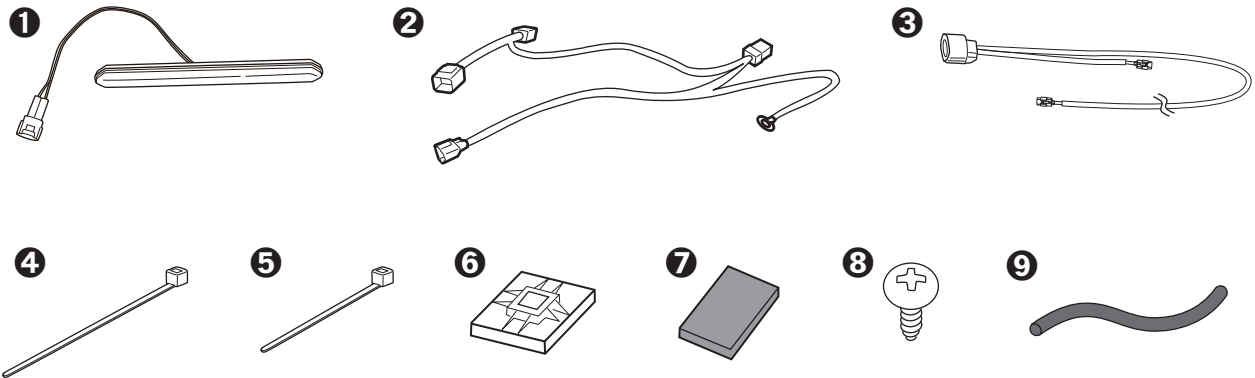
⑦LEDデイトイムランプキット

■ ⑦LEDデイトイムランプキット構成部品一覧

No.	品名	個数	備考
①	LEDランプ	2	
②	ハーネスA	1	割り込み接続ハーネス
③	ハーネスB	1	LED接続ハーネス
④	結束バンド（長）	1	L=200
⑤	結束バンド（短）	19	L=150
⑥	結束バンドベース	3	
⑦	クッション	9	100×50
⑧	タッピングスクリュー	4	M3×10
⑨	コルゲートチューブ	2	φ5 L=200

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

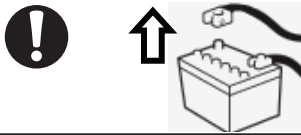
- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20°C以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

LEDデイトイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



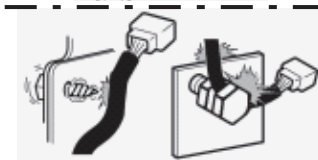
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。



部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。



- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

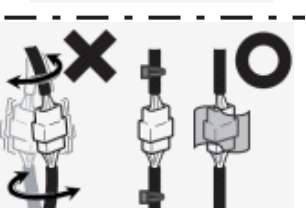
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～3
2. 取付上のご注意（取付作業の方へ） 4
3. LEDデイトタイムランプ配線取付け上の注意事項 5
4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 6
5. 取付準備、取付要領 7～21
6. 取付完了後の点検・注意事項 22
7. 回路図 22

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具・トルクレンチ
- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・エアソー・ヤスリ・保護メガネ
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.0mm/8.0mm/10.0mm）
- ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

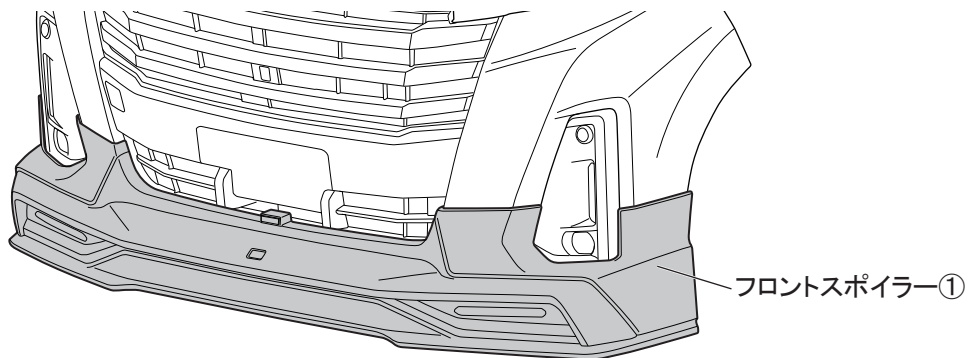
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

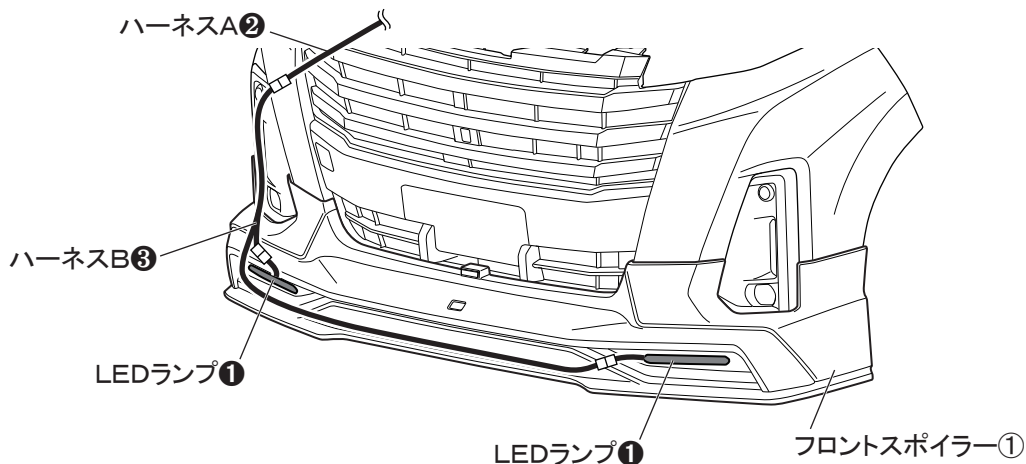
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



[LEDデイトタイムランプ配策イメージ図]



塗装済み品の取付けは、9ページ【フロントスポイラー取付準備】に進み作業を行なってください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-B1019-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

1. 図1のようにフロントスポイラー①を車両色で塗装する。

図1

フロントスポイラー①

A-A

塗装範囲

マスキング範囲

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

2. 図2のようにフロントスポイラー①にマスキングテープ⑬を貼付け、艶消し黒（グロス10相当）で塗装する。

図2 ※LH図示 左右共通作業

艶消し黒（グロス10相当）

車両色

車両色

A-A

艶消し黒塗装範囲

R止まり

車両色塗装範囲

フロントスポイラー① マスキングテープ⑬ LH

[拡大図]

車両色

段差で塗り分ける

艶消し黒

マスキングテープ⑬R/L識別

端部

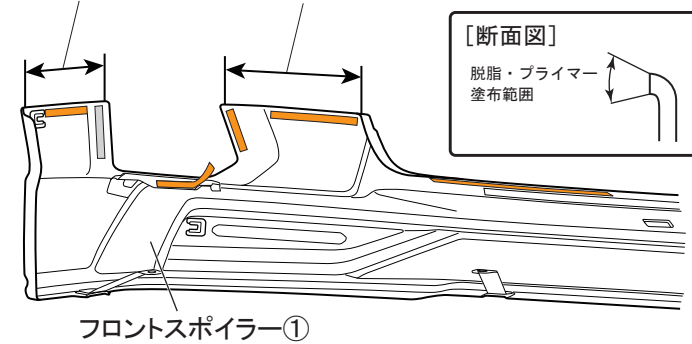
R側のみ半円有り

マスキングテープ⑬

RH LH

図3 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

脱脂・PACプライマー（青袋）⑩塗布範囲



□モールの貼付け

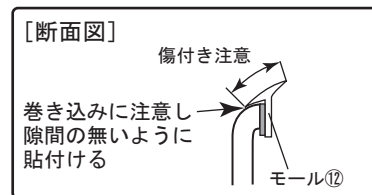
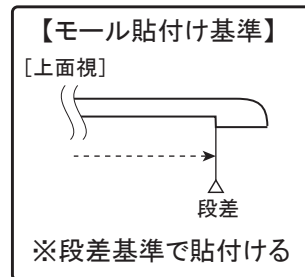
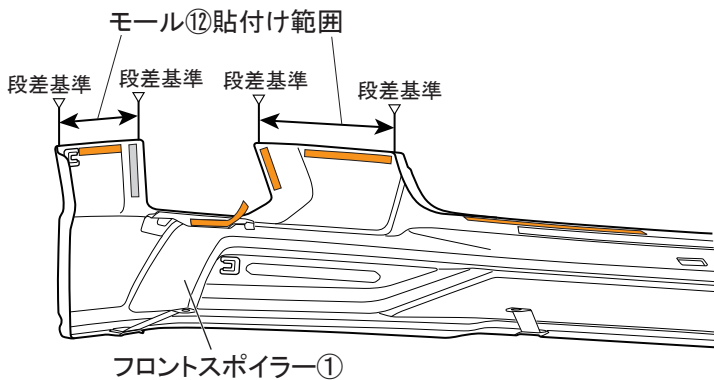
1. 図3のようにモール⑫貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー（青袋）⑩を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. 図4のようにフロントスポイラー①にモール⑫の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

図4 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

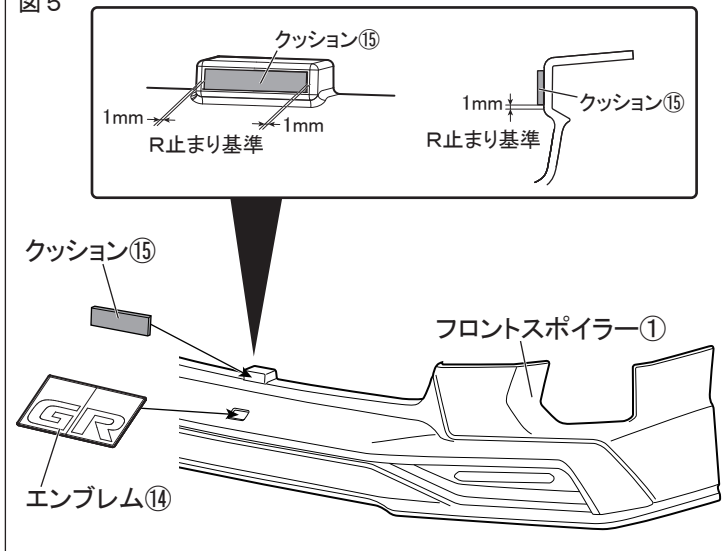


△注意：モール⑫は、3色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

□エンブレム、クッションの貼付け

図5



1. 図5のようにフロントスポイラー①中央の凸部、凹部の座面をIPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、エンブレム⑭、クッション⑮を貼付け圧着する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

■ 取付準備、取付要領

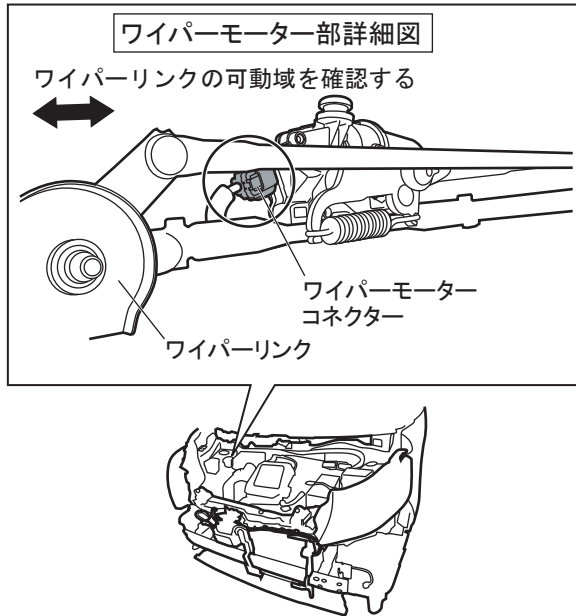
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラー取付準備

1. 該当車両の車両修理書に従い、車両からカウルトップベンチレーターバプロテクタRH/LH、カウルトップベンチレーターバSUB-ASSY、ワイパーアームRH/LHを取外す。

△注意：取外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

図 6

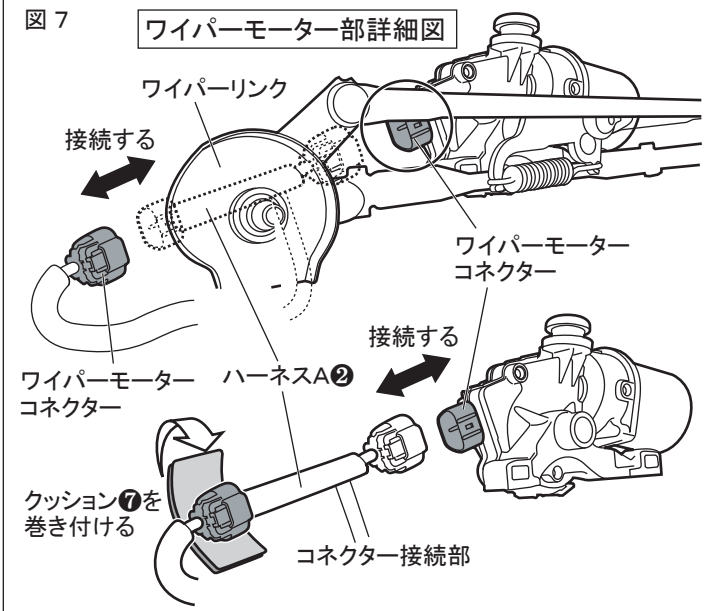


2. 図 6 のようにイグニッションONの状態にして、ワイパーを作動させてワイパーリンクの可動域を確認する。

△警告：ワイパー可動域にハーネスが侵入すると、ハーネスの断線・ショート及びワイパーが機能しなくなるなど、大変危険ですので実際にワイパーを作動させて確認してから作業を行ってください。

3. 車両のバッテリーマイナス端子を取外す。
4. 図6のようにワイパーモーターのコネクタを取外す。

図 7



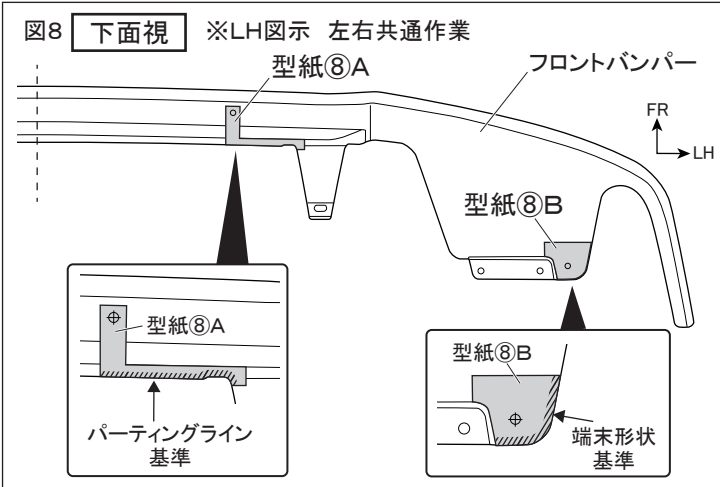
5. 図7のようにワイパーモーターコネクタとハーネスA②の5Pコネクタを接続し、コネクタ接続部にクッション⑦を巻き付ける。
6. 図7のようにワイパーリンクの背面を通してハーネスA②の5Pコネクタをワイパーモーターに接続する。

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に鋭利なエッジが無いことを確認してください。

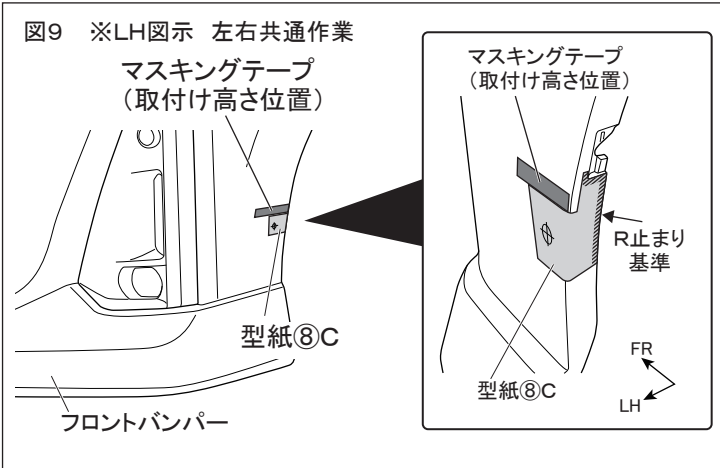
7. LEDランプの点灯確認を行うため、ハーネスA②とハーネスB③を接続し、ハーネスB③とLEDランプ①を2箇所とも接続する。
8. 車両のバッテリーマイナス端子を取付け、ハーネスA②の丸形端子をバッテリーのマイナス端子に仮接続し、イグニッションをONの状態にしてLEDランプが正常に点灯することを確認する。
9. 点灯確認後、バッテリーマイナス端子とハーネスAの丸型端子を外す。

10. 該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取外す。

△注意：取外した車両部品、車両スクリュー、車両クリップは再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

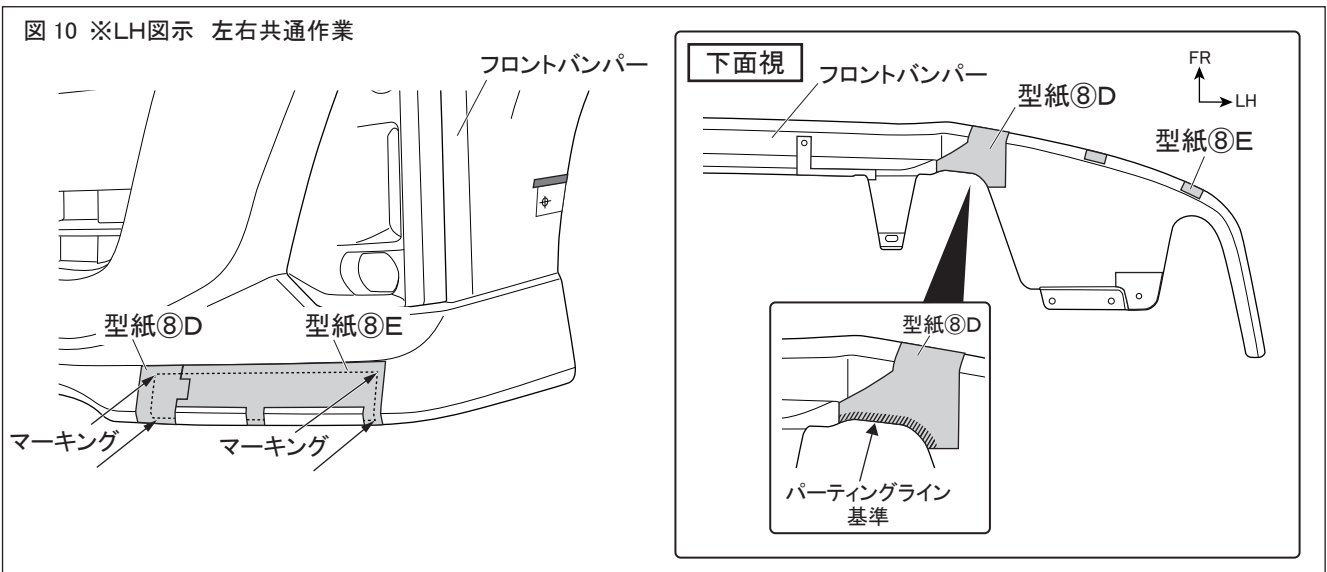


11. 図8のように型紙⑧A、Bをフロントバンパー下面に貼り付ける。(左右各2箇所)

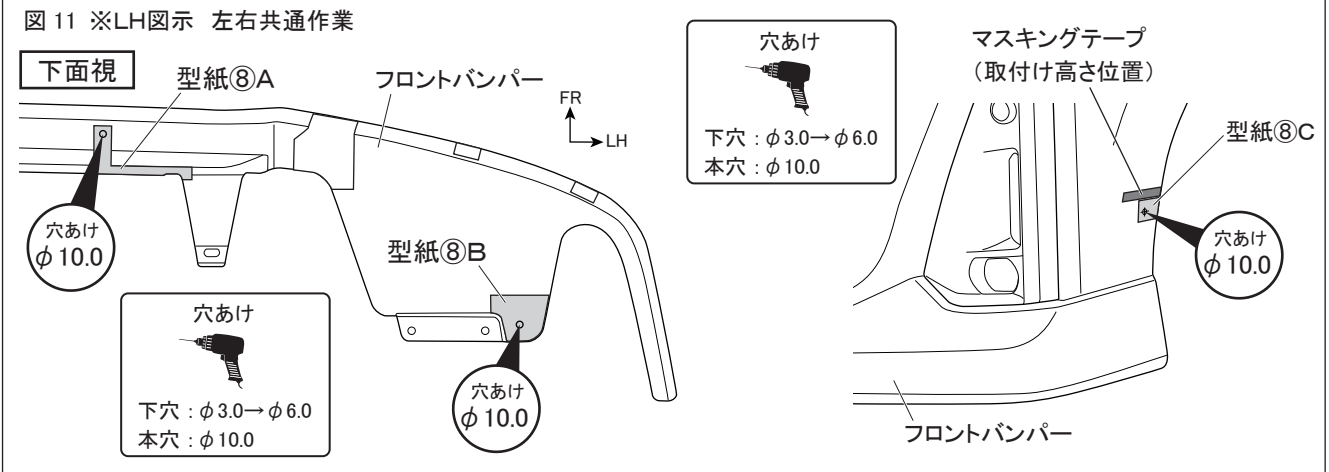


12. 図9のように型紙⑧Cをフロントバンパー側面に貼り付け、取り付け高さ位置にマスキングテープを貼り付ける。(左右各1箇所)

13. 図10のようにフロントバンパーに型紙⑧D、Eを貼り付け、型紙⑧D、Eのカットライン角部にキリ等でマーキングする。(左右各4箇所)



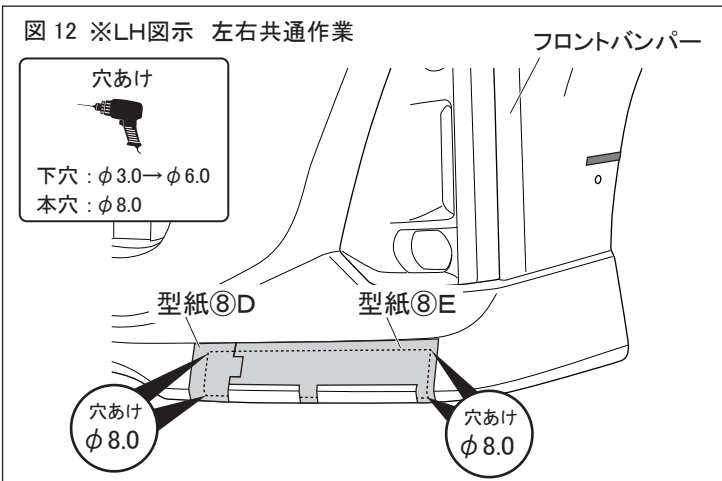
14. 図 11 のようにフロントバンパーの型紙⑧A、B、Cの穴あけ位置に合わせて下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。(左右各3箇所)



👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

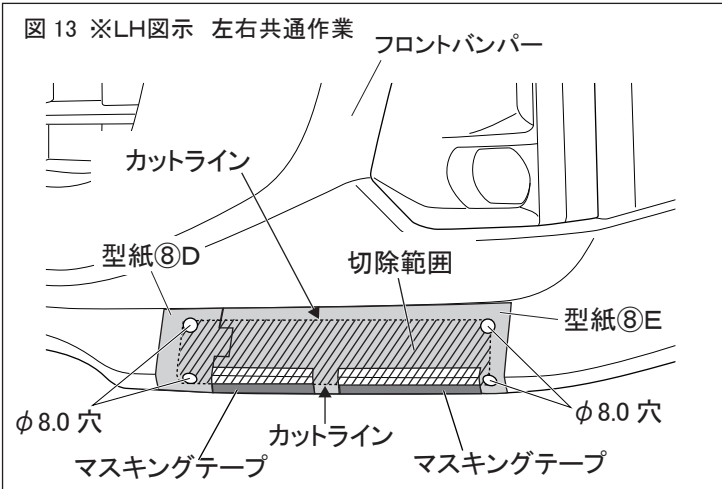
15. 型紙⑧A、B、Cを剥がし、穴周囲のバリを除去する。(左右各3箇所)



16. 図 12 のようにフロントバンパーの型紙⑧D、Eのマーキング位置に合わせて下穴φ3.0→φ6.0の順であけ、φ8.0の本穴をあける。(左右各4箇所)

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

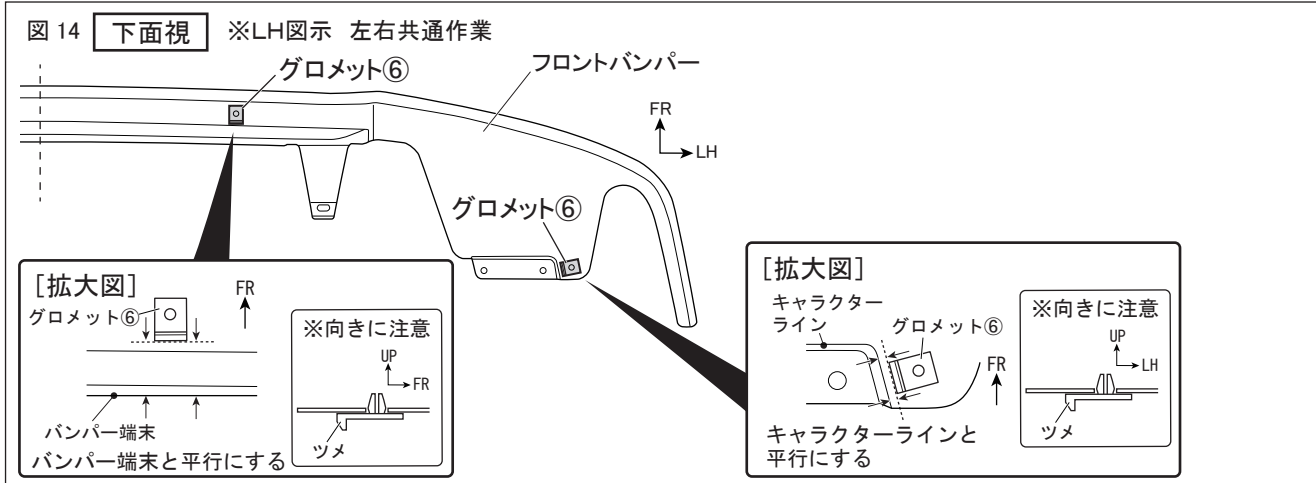


17. 図 13 のようにφ8.0の穴を結ぶように型紙⑧D、Eのカットラインに沿ってマスクングテープを貼り付けて、エアソー等でフロントバンパーを切除加工する。(左右各1箇所)

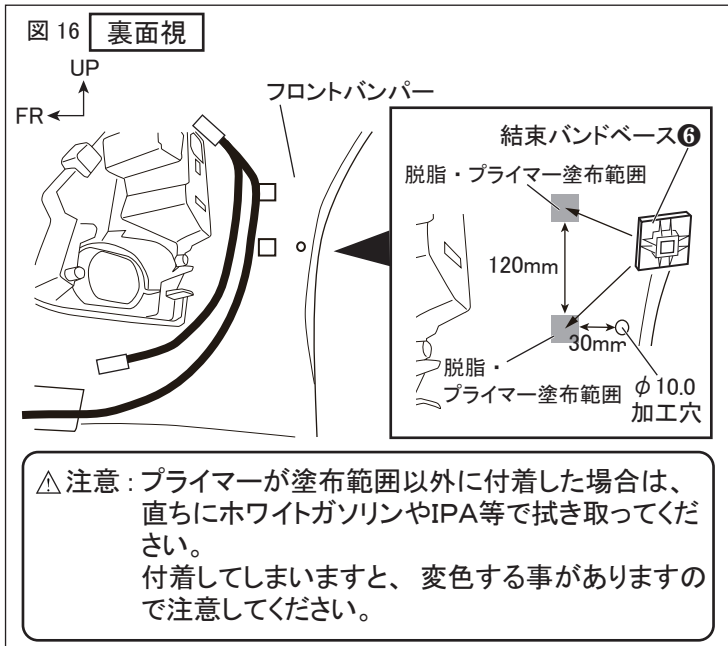
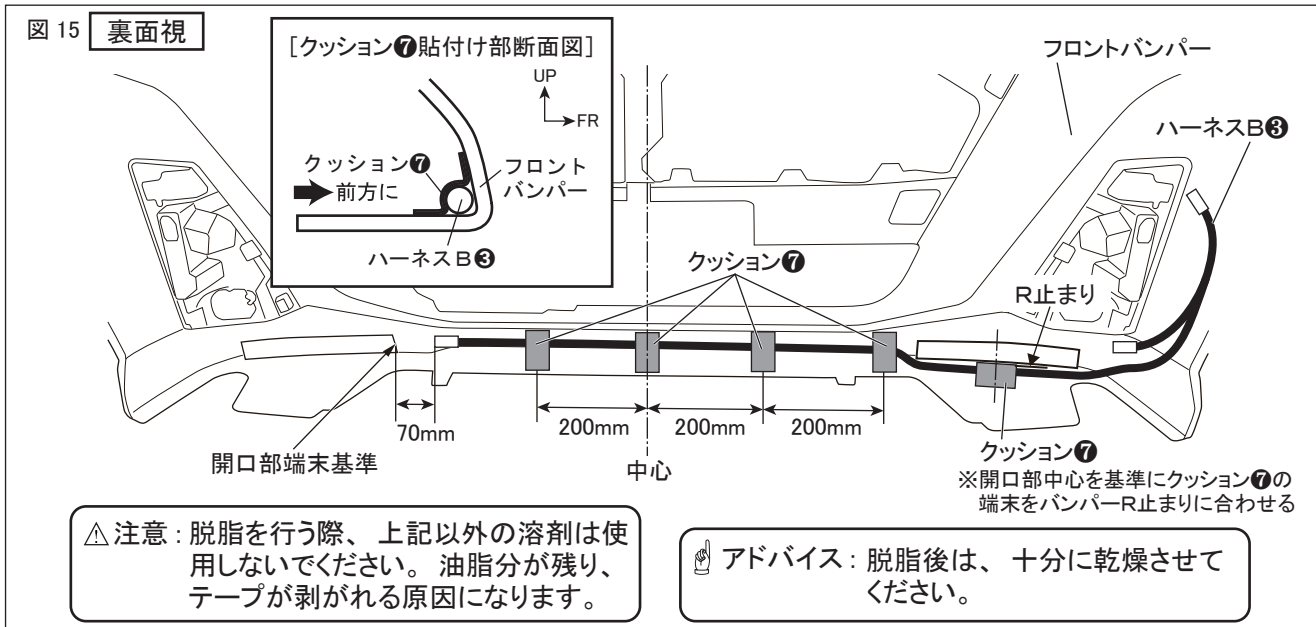
⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

18. 穴あけ後、型紙⑧D、Eおよびマスクングテープを剥がし、切除部周囲のバリを除去する。

19. 図 14 のようにフロントバンパー下面のφ10.0 穴にグロメット⑥を取付ける。(左右各2箇所)



20. 図 15 のようにフロントバンパー裏側にハーネスB⑤を配置し、図示寸法で計測し、クッション⑦を貼付けて固定する。その際に貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し貼付ける。(5箇所)

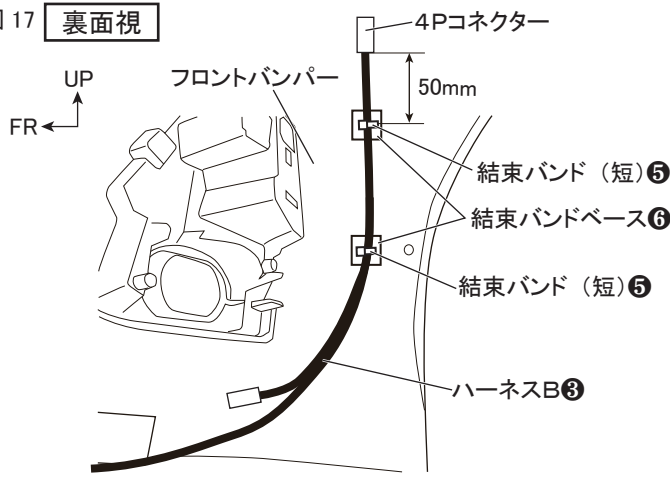


21. 図 16 のようにフロントバンパー右側面のφ10.0 穴を基準に図示寸法で計測し、結束バンドベース⑥の貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー⑩(青袋)を塗布する。(2箇所)

- △注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。
- 👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

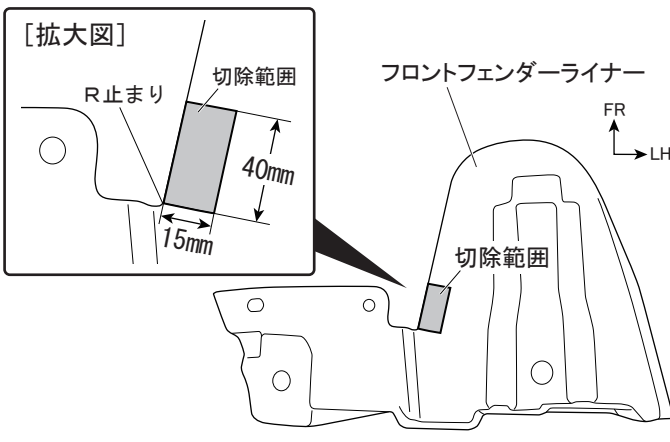
22. 図 16 のように結束バンドベース⑥を貼付ける。(2箇所)

図 17 裏面視



23. 図17のようにハーネスB③を結束バンド(短)⑤で固定する。(2箇所)
その際に4Pコネクタ根元から結束バンド(短)⑤までが50mm程度になるように調整する。

図 18 下面視 ※LH図示 左右共通作業

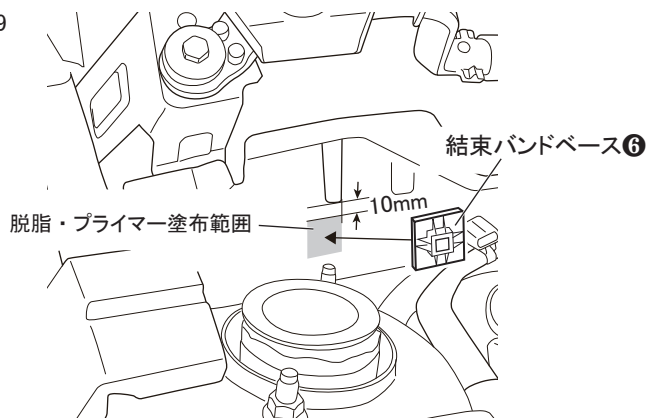


24. 図 18 のようにフロントフェンダーライナーを切除加工する。(左右各1箇所)
切除後、加工部周囲のバリを除去する。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□LEDデイトタイムランプ取付け

図 19



△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

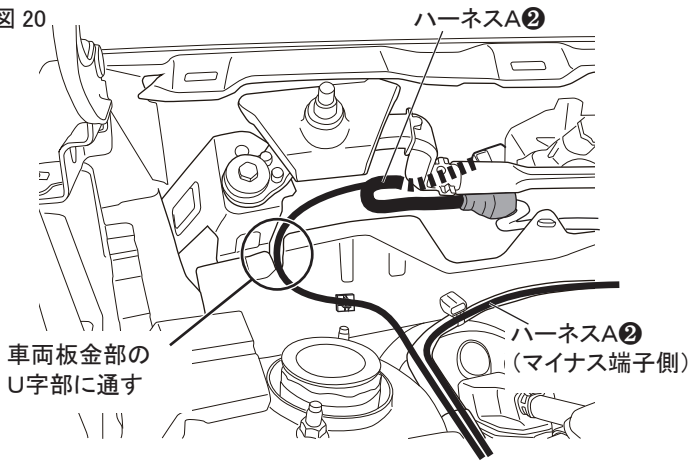
1. 図 19 のように結束バンドベース⑥貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂し、PACプライマー⑩(青袋)を塗布する。(1箇所)

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

2. 図 19 のように結束バンドベース⑥を貼付ける。(1箇所)

図 20

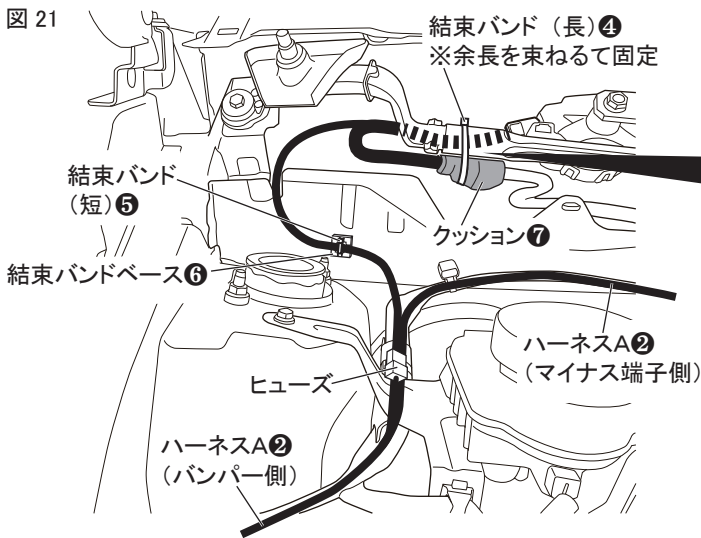


3. 図 20 のように車両板金部のU字部を通してハーネスA②を配置する。

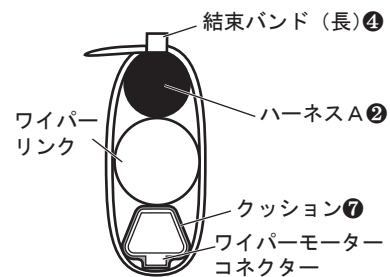
△注意：ハーネスの取り廻し経路上に鋭利なエッジが無いことを確認してください。

4. 図 21 のようにワイパーモーターコネクタ接続部のハーネスA②を束ねて結束バンド (長)④で固定する。(1箇所)
5. 図 21 のように板金部のU字部を通したハーネスA②を結束バンドベース⑥に結束バンド (短)⑤で固定する。(1箇所)

図 21

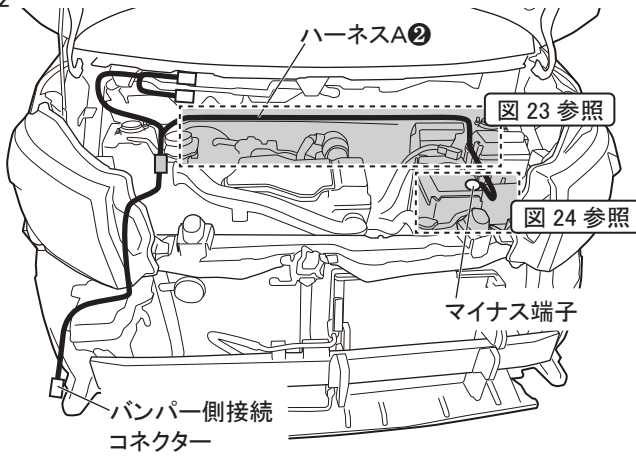


[結束バンド (長)④固定断面図]



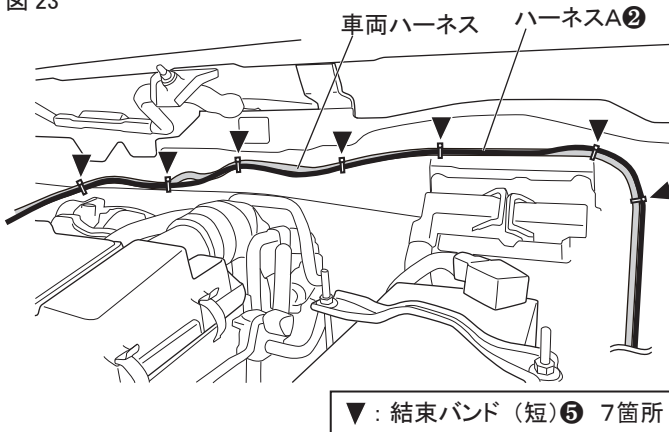
△注意：結束バンド (短)⑤で固定する際は、ハーネスA②がU字部から外れないように注意し、ワイパーリンク可動域に干渉しないように配策固定してください。

図 22



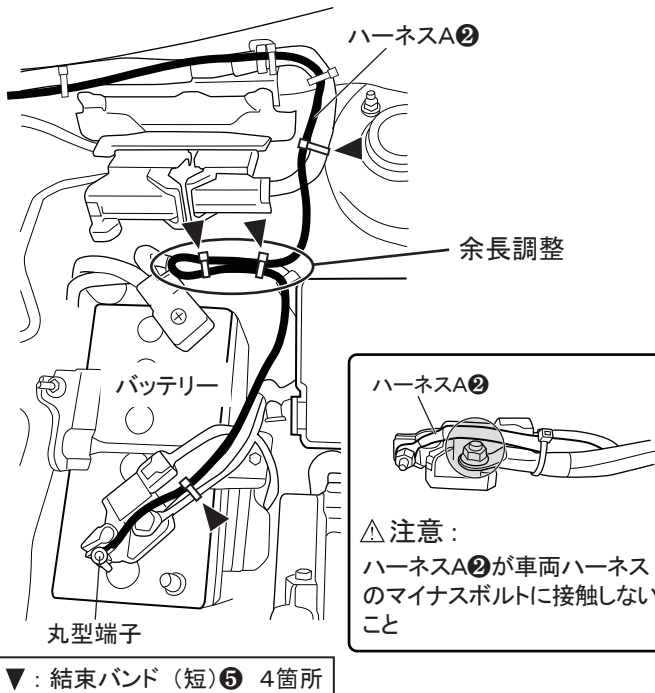
6. 図 22 のように車両ハーネスに沿ってハーネスA②を配置する。

図 23



7. 図 23 のようにハーネスA②を車両ハーネス固定部に結束バンド (短)⑤で仮固定する。(7箇所)

図 24 車両左側バッテリー付近図



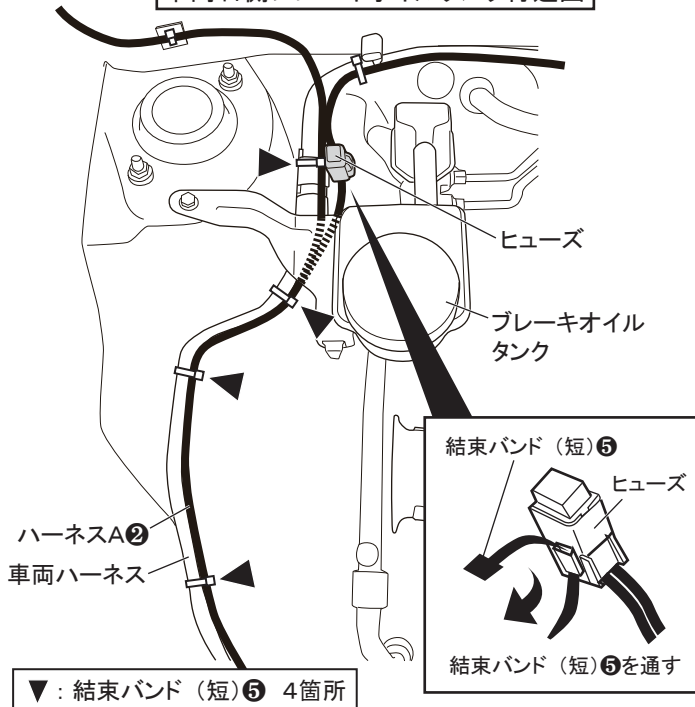
8. 図 24 のように車両ハーネスに沿ってハーネスA②を配置する。
9. 図 24 のようにハーネスA②を車両ハーネスに結束バンド (短)⑤で仮固定する。(4箇所)
10. 図 24 のようにバッテリーのマイナス端子のボルトを一度外し、図中のハーネスA②の丸型端子をボルト側に接続して仮締めする。

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に鋭利なエッジが無いことを確認してください。

△注意：
ハーネスA②が車両ハーネスのマイナスボルトに接触しないこと

図 25

車両右側ブレーキオイルタンク付近図

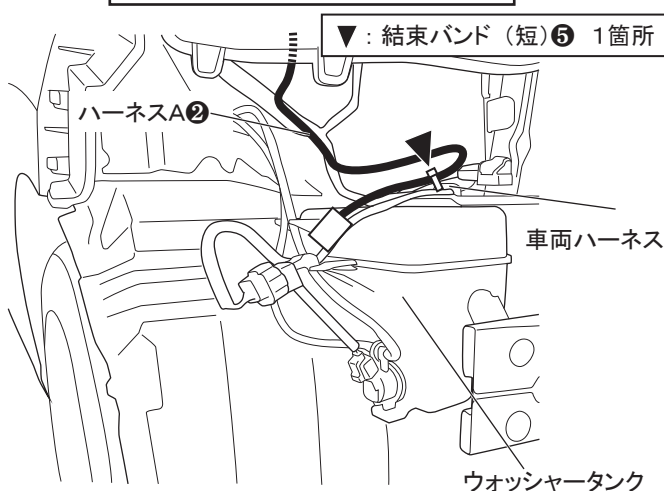


11. 図 25 のように車両ハーネスに沿ってハーネスA②を配置する。
12. 図 25 のようにハーネスA②のヒューズ裏側に結束バンド (短)⑤を通し、ヒューズのフタが上に向くように配策し、ブレーキオイルタンク付近の車両ハーネスに仮固定する。
13. 図 25 のようにハーネスA②を車両ハーネス固定部に結束バンド (短)⑤で仮固定する。(4箇所)

△注意 : ハーネスの取り廻し経路上に鋭利なエッジが無いことを確認してください。

図 26

車両右側ウォッシャータンク付近図

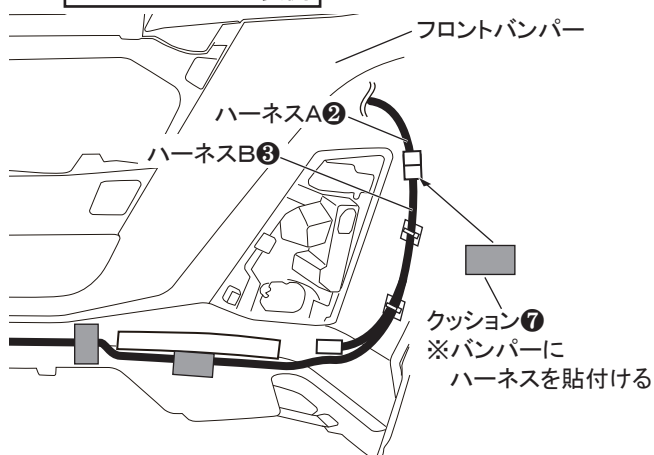


14. 図 26 のように車両ハーネスに沿ってハーネスA②を配置する。
15. 図 26 のようにハーネスA②を車両ハーネス固定部に結束バンド (短)⑤で仮固定する。(1箇所)

△注意 : ハーネスの取り廻し経路上に鋭利なエッジが無いことを確認してください。

図 27

フロントバンパー裏側



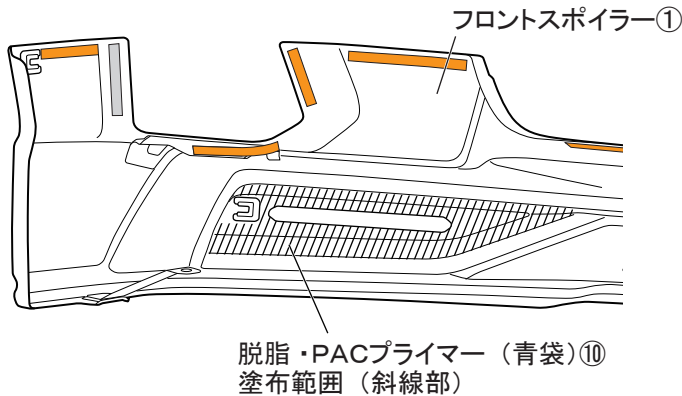
16. 図 27 のように該当車両の修理書に従い、ナンバープレート、フロントフェンダーライナー以外のフロントバンパーを復元する。その際にハーネスA②とハーネスB③のコネクターを接続し、コネクター部をクッション⑦でバンパーに貼付ける。
17. ハーネスの張り・弛みを調整し、干渉等がないことを確認して仮固定している各部の結束バンド (短)⑤を本締めする。(16箇所)

△注意 : 結束バンドの本締めは、配線が動かない程度に締め付け、締めすぎに注意してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

フロントスポイラー取付要領

図 28 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

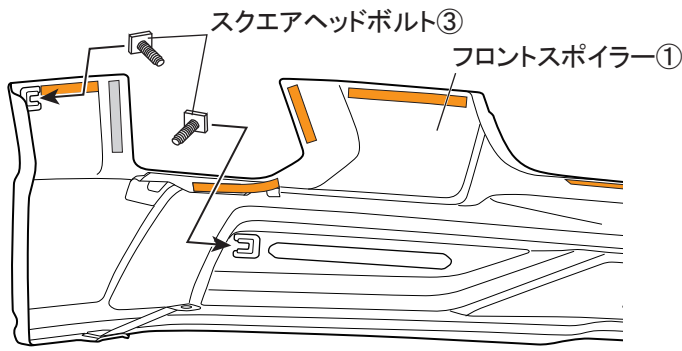


1. 図 28 のようにフロントスポイラー①裏面のLEDリテーナー②貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、PACプライマー（青袋）⑩を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図 29 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



2. 図 29 のようにフロントスポイラー①裏面にスクエアヘッドボルト③を取付ける。（左右各2箇所）

3. 図 30 のようにコルゲートチューブ⑨をLEDランプ①のハーネスに通してビニールテープを巻き、固定する。（左右各1箇所）

図 30 ※LH図示 左右共通作業

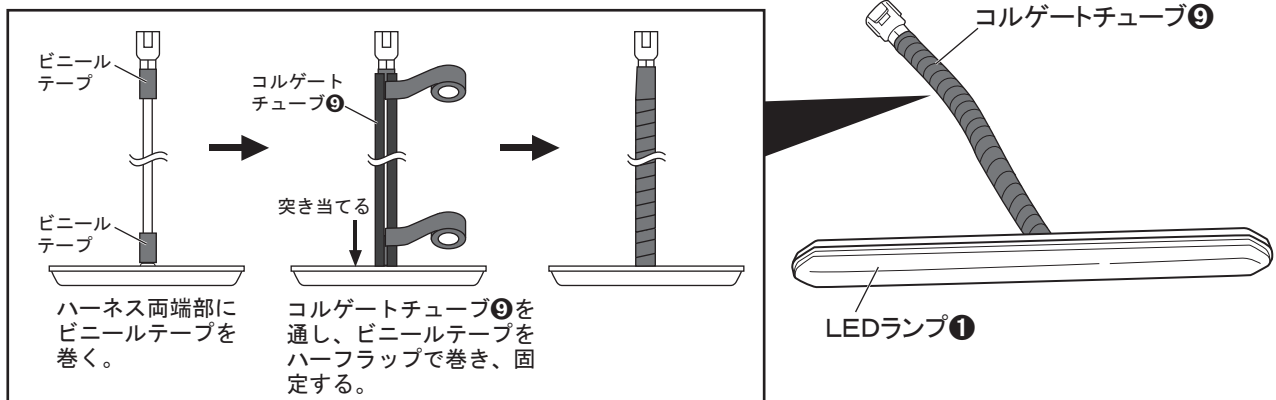
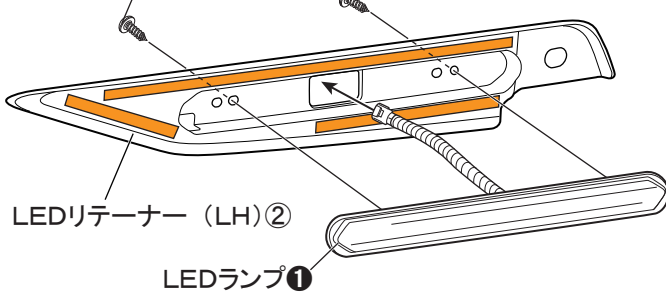


図 31 ※LH図示 左右共通作業
締付トルク：0.8～1.0N・m
タッピングスクリュー⑧

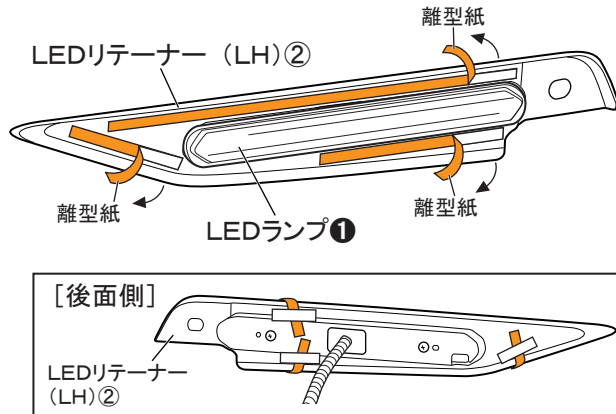


4. 図 31 のようにLEDランプ①をLEDリテナー②にあて、裏側からタッピングスクリュー⑧で固定する。

※締付トルク：0.8～1.0N・m

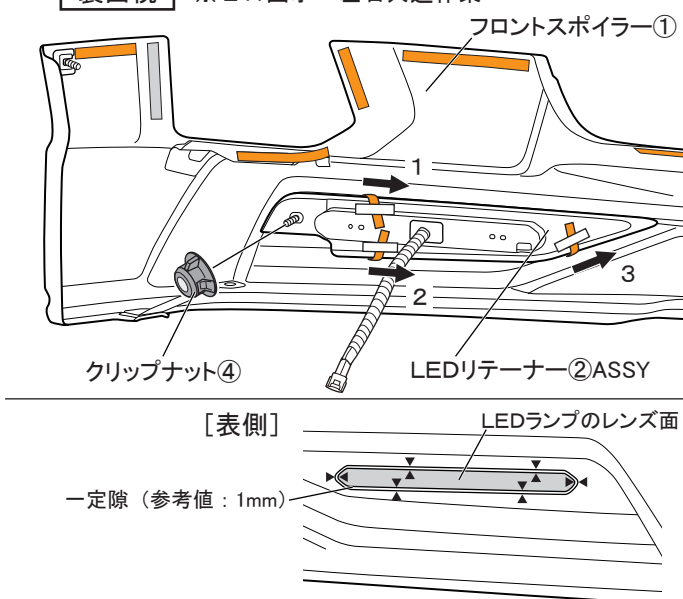
△注意：タッピングスクリュー⑧は規定トルクの範囲内で締め付けてください。オーバートルクで締め付けるとLEDランプ①が破損する恐れがありますので注意してください。

図 32 ※LH図示 左右共通作業



5. 図 32 のようにLEDリテナー②の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で裏側に貼付ける。

図 33 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



6. 図 33 のようにフロントスポイラー①裏面にLEDリテナー②ASSYをあて、クリップナット④を仮締めし、各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

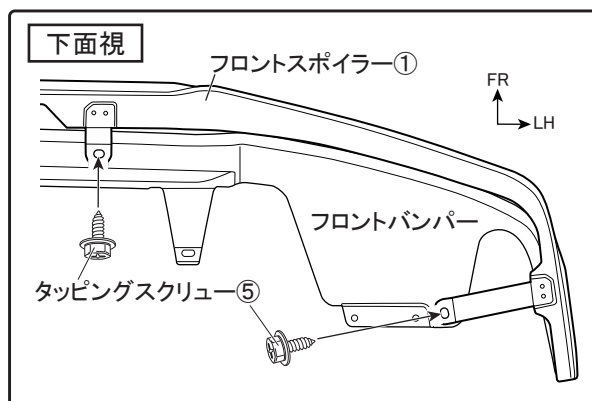
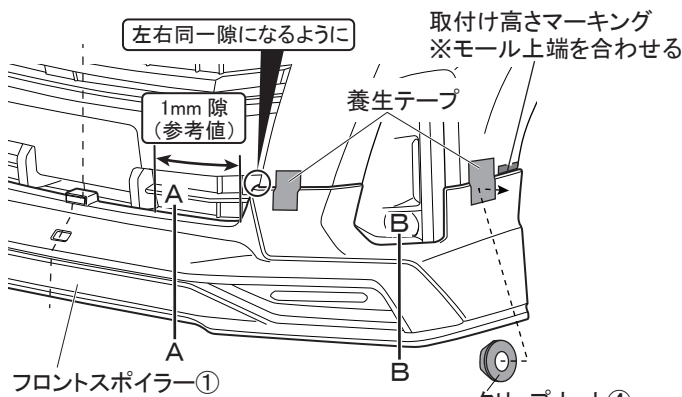
△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びフロントスポイラーの貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

7. クリップナット④を本締めする。

LEDランプのレンズ面と開口部周囲が一定隙（参考値：1mm）になるよう位置決めする

8. 図 34 のようにフロントバンパー側面の取付け高さマーキングに合わせてフロントスポイラー①をあて、下面をタッピングスクリュー⑤(左右各2箇所)、側面をフロントバンパー内側からクリップナット④(左右各1箇所)で仮締めし、養生テープ等で仮固定する。

図 34 ※LH図示 左右共通作業



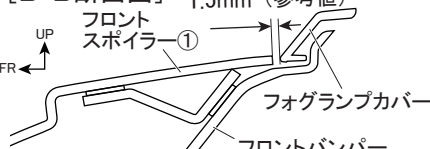
△注意：製品取付け時、車両へのキズ付きに注意してください。

[A-A断面図]



※厚さ 1mm のワッシャー等を使用し、隙を計測してください。

[B-B断面図]

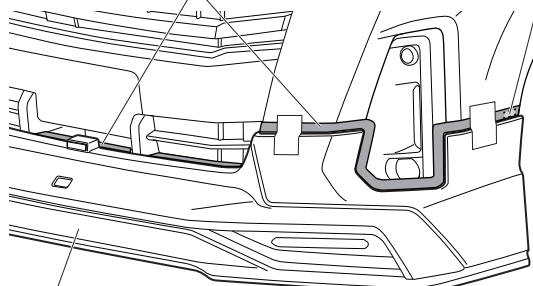


※厚さ 1.5mm のワッシャー等を使用し、隙を計測してください。

図 35 ※LH図示 左右共通作業

マスキングテープ

取付け高さマーキング



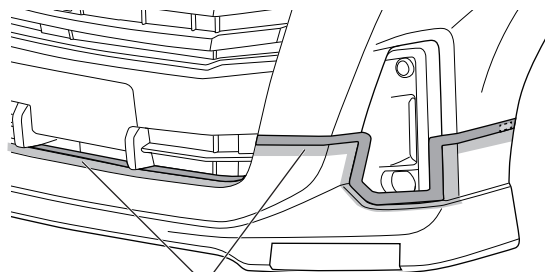
フロントスポイラー①

9. 図 35 のようにフロントスポイラー①上端(モール貼付け部はモール上端)に合わせてフロントバンパーにマスキングテープを貼付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

10. フロントスポイラー①を取外す。

図 36 ※LH図示 左右共通作業



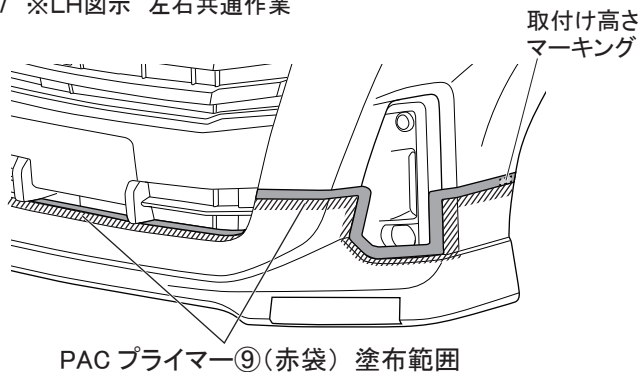
脱脂範囲

11. 図 36 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図 37 ※LH図示 左右共通作業



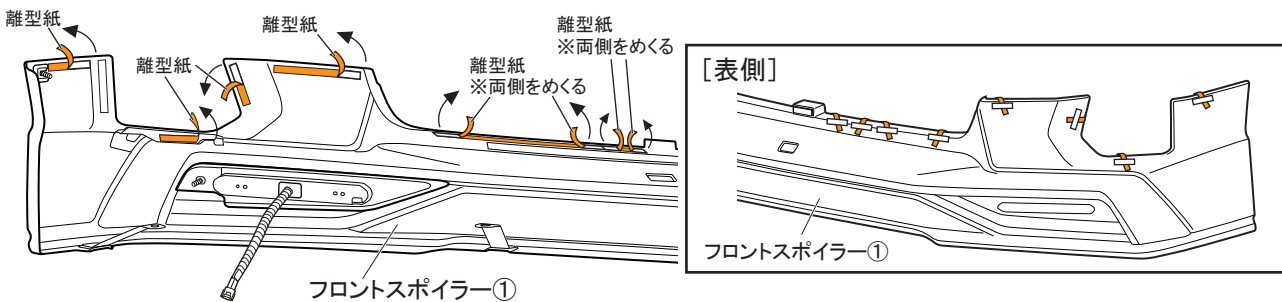
12. 図 37 のようにフロントスポイラー①の両面テープ貼付け部（左図斜線部）にPACプライマー⑨（赤袋）を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

13. マスキングテープを剥がす。
※取付け高さマーキングは剥がさないでください。

14. 図 38 のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm 剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右各8箇所）

図 38 裏面視 ※LH図示 左右共通作業 離型紙

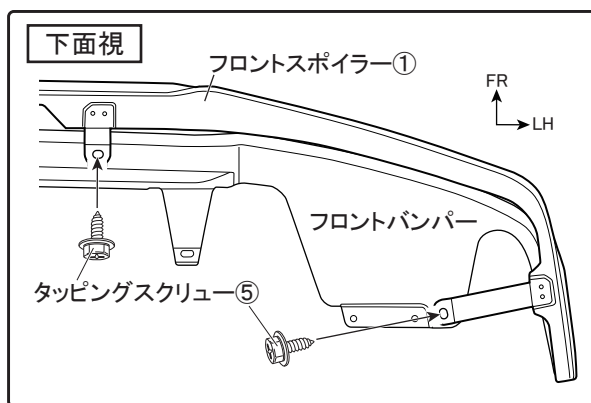
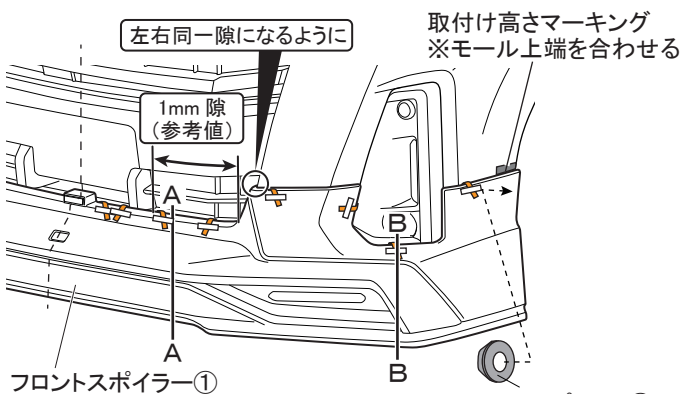


△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

15. 図 39 のようにLEDランプ①のコネクターをバンパー開口部に入れ、フロントバンパー側面の取付け高さマーキングに合わせてフロントスポイラー①をあてる。

下面をタッピングスクリュー⑤（左右各2箇所）、側面をフロントバンパー内側からクリップナット④（左右各1箇所）で仮締めする。

図 39 ※LH図示 左右共通作業



△注意：製品取付時、車両へのキズ付きに注意してください。

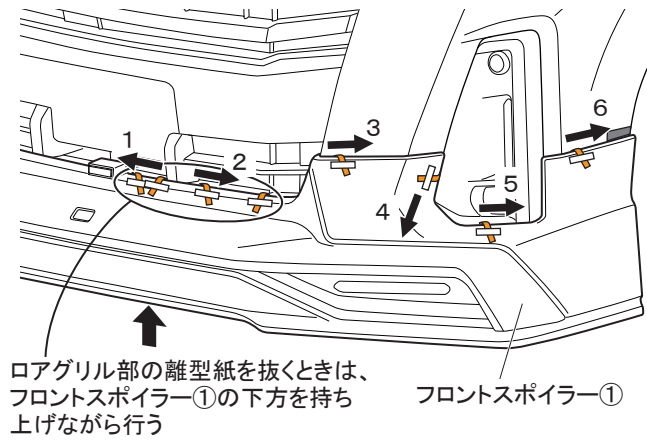


※厚さ 1mm のワッシャー等を使用し、隙を計測してください。



※厚さ 1.5mm のワッシャー等を使用し、隙を計測してください。

図 40 ※LH図示 左右共通作業



ロアグリル部の離型紙を抜くときは、
フロントスポイラー①の下方を持ち
上げながら行う

フロントスポイラー①

16. 図 40 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。(左右各6箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

17. 取付け高さマーキングを剥がす。
(左右各1箇所)



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

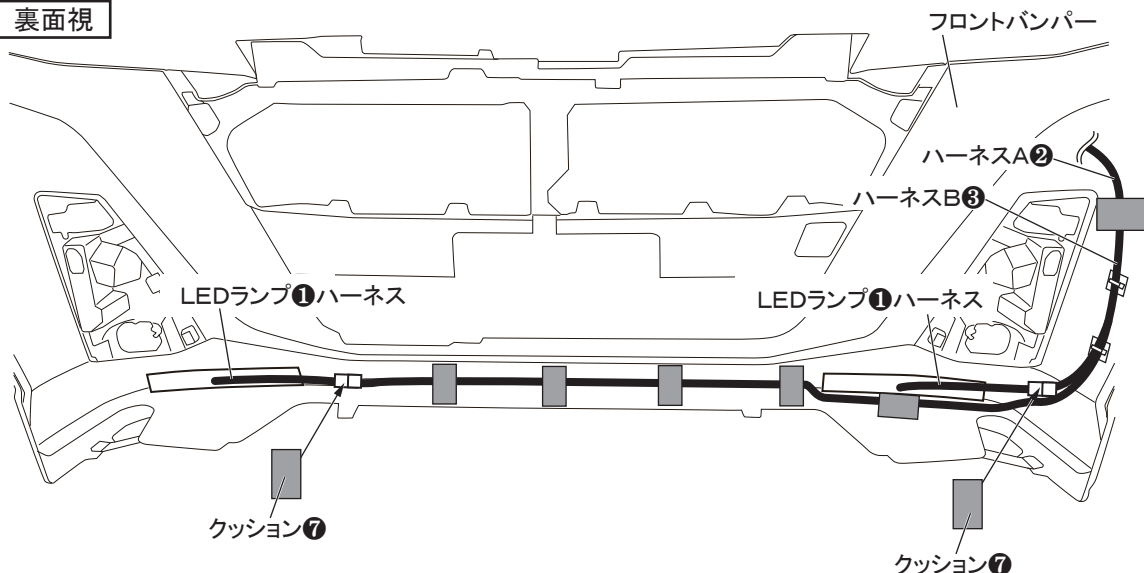


警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

18. ナンバープレートを取付け、フロントバンパー下面のタッピングスクリュー⑤、側面のクリップナット④を本締めする。

19. 図 41 のようにフロントバンパー下面から手を入れ、LEDランプ①のコンネクターとハーネスB③のコンネクターを接続し、コンネクター接続部をフロントバンパー側に押し当ててクッション⑦を貼付けて固定する。(左右各1箇所) その際に貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し貼付ける。(左右各1箇所)

図 41 裏面視



△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

△アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

20. バッテリーのマイナス端子を仮接続し、イグニッションをONの状態にしてLEDランプ①が正常に点灯することを確認する。

21. 該当車両の車両修理書に従い、フェンダーライナー、カウルトップベンチレーターバプロテクタRH/LH、カウルトップベンチレーターバSUB-ASSY、ワイパーアームRH/LHを復元する。

すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルを本締めし、該当車両の修理書に従い、各部センサー・灯火類等の調整・再設定を行ってください。

【⊖バッテリーターミナルの締付けトルク：5.4 N・m】

■ LEDデイトタイムランプ取付け後の確認・注意事項

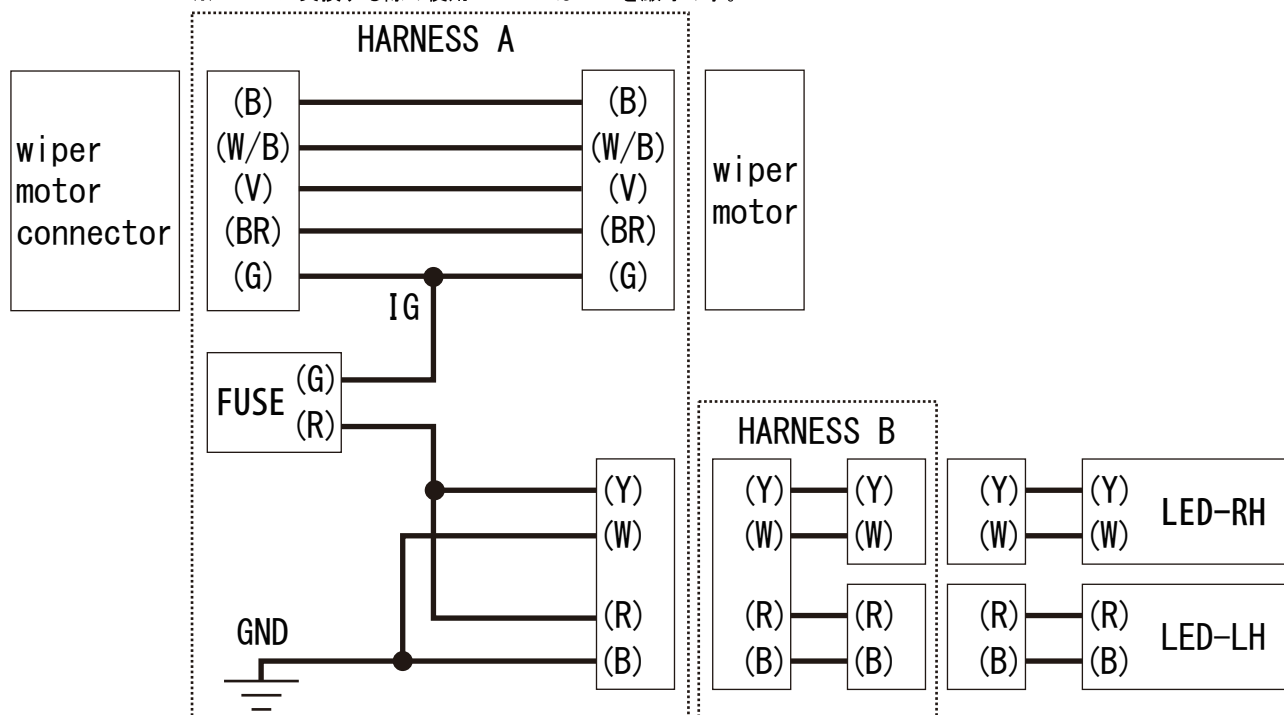
・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無い事を確認する。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 回路図

※ヒューズ交換する際の使用ヒューズは2Aを厳守の事。



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

TEL:050-3161-2121

<https://www.trdparts.jp/>